

一般社団法人 沖縄県臨床検査技師会

平成30年度 第3回理事会 議事録

開催日時：平成30年6月11日（月）19：00～21：00 場所：沖臨技事務所

出席：（理事）手登根稔、川田 勤、運天芳浩、瀬戸 司、安里光宏、宮城和文、斎藤辰好、山内 恵、
與那嶺淳、古見美也子、赤嶺尚子、宮里泰山、田盛 仁、仲間美香、渡口義克、山城 篤

欠席：（理事）伊波 敬、登川雅子、和久井萌、池間龍也

（監事）名嘉正光、多和田真順

1. 沖臨技事業について

1) 平成30・31年度役員役割分担

①代表理事選定の件

理事 手登根稔は選ばれて議長となり、今般、代表理事 松川正男が理事の任期満了により代表理事の資格を喪失し、退任することになるので、改めて当法人の代表理事を選定したい旨を述べ、慎重協議した結果、全員一致をもって、次のとおり選定した。なお、被選定者は、席上その就任を承諾した。

代表理事（会長）手登根 稔

総務副会長 川田 勤

渉外副会長 運天 芳浩

学術副会長 山城 篤

事務局長 瀬戸 司

②各理事の役割分担

総務：川田勤、斎藤辰好、伊波敬、登川雅子、仲間美香

渉外：運天芳浩、宮城和文、古見美也子、渡口義克、田盛仁

学術：山城篤、安里光宏、與那嶺淳、山内 恵、和久井萌

会計：瀬戸司、赤嶺尚子、宮里泰山

離島：池間龍也

- ・理事会の議事録は、会長以外の理事が輪番制で作成し、毎月沖臨技HPへアップしていく。また、大事な決議事項の場合は、法務局へ登記、学会誌へ収載していく。
- ・沖臨技HPに関するサポートは、総務・渉外・学術の3部門から担当を決定する方向で、当面は登川理事が與那嶺理事をサポートする。
- ・池間理事は、引き続き宮古・八重山地区の離島を担当していただく。

2) 前会長からの引き継ぎ事項

①沖臨技事業

検体採取に関する厚生労働省指定講習会、がんゲノム医療コーディネーター取得に向けた講習会参加、職能向上のための臨床検査育成講習会、地域ニューリーダー実践講習会

②九州支部事業

初級・職能開発講習会の開催、九州支部幹事会、日臨技九州支部医学検査学会

③日臨技事業

全国幹事会、日本医学検査学会、賀詞交換会、日臨技定期総会、臨床検査技師連盟会員増員支援

④その他

沖縄県医療保健連合会（なごみ会）幹事会、沖縄県医療推進協議会、沖縄県健康づくり財団評議委員

- ・以上を年間行事と周知しておく。
- ・松川前会長の今後の役職に関しては、沖縄県臨床検査技師会の顧問、及び表彰推薦委員会の委員を担当することが、この理事会にて承諾された。

3) 第54回沖縄県医学検査学会を振り返って

- ・企画（日臨技関連・実技講習・LIVEセミナー）が好評価であった。これらは、継続的に実施していきたい。
- ・総合受付で受付をせずに、そのまま実習を行った方がおり、次年度以降はネームホルダーなどで、徹底管理していきたい。
- ・昨年度の総会において、長嶺氏から沖縄県医師会精度管理調査の過去のデータに対する指摘のあった事案に関して、当会は、書面で訂正文の発行、また、今年度の総会内にて当時の担当者から口頭で精度管理参加施設に対して説明を行った。執行部としては、この事案に関して、今後、総会で取り上げることはない。今後もこの事案に関して指摘が来る場合は、本来沖縄県医師会の事業にあたるため、医師会側の担当の医師や事務員を踏まえたうえで、この事案だけでなく、それに付随した精度管理の件も含めて会議の場を設ける。

4) 第10回沖臨技新人宿泊研修会について

- ・日時：平成30年6月30日（土）15：00～7月1日（日）10：00
- ・場所：ペンション「きちむい」（宜野座村）
- ・理事は、前日の19時に技師会事務所、13時に現地へ集合し、前準備を行う。
- ・買い出し担当と備品担当をわけて準備を行っていく。
- ・司会：沖縄県臨床検査技師会について（川田総務副会長）、学術研究班のミニレクチャー（山城学術副会長）、参加者自己紹介（運天渉外副会長）。
- ・日臨技用のDVD鑑賞もプログラムへ加える。（日臨技からの義務）

5) 検体採取講習会の受講促進

- ・日時：平成30年9月16日（日）・17日（月）の両日
- ・場所：琉球大学医学部基礎講義棟1階
- ・現在、定数にゆとりがあるので、各施設にて未受講者がいれば受講を促す。

6) 第8回なごみ会主催県民健康フェア

- ・日時：8月19日（日）10：00～16：00（実際の開始は12時から16時まで）
- ・場所：沖縄コンベンションセンター展示棟
- ・駐車場係は、これまで理学療法士などが担当していたが、今年度から沖縄県臨床検査技師

会からも1~2名の応援を要請があった。山城副会長とその他1名の理事が担当する。

7) 平成30年度「検査と健康展」

- ・日時：平成30年11月11日（日）未定 10：00～15：00
- ・場所：未定（イオン南風原店と現在交渉中）

2. 九州支部より

1) 平成30年度日臨技九州支部医学検査学会（大分県開催）について

- ・一般演題抄録の募集が6月15日まで延長になった。各施設、応募の協力を願う。
- ・山内理事が学会から打診があり、生化学・免疫血清のシンポジウムを担当することになった。

2) 九州精度管理事業（精度管理血清作製）への技師派遣

平成30年7月21～22日に熊本大学病院検査部にて、生化学の試料作製から分注まで行う。沖縄県から川尻臨床化学検査分野長と大城免疫血清検査分野長を派遣することが決定した。旅費は九州支部が負担。

3. 日臨技より

1) 平成30年度定時総会成立に関して

- ・電磁的方法が6月22日（金）の正午までなので、各施設協力要請を促すよう希望する。

2) 平成30年度定時総会に関して

- ・日時：平成30年6月23日（土）
- ・沖臨技から手登根新会長が参加するため、日臨技への要望として、山城学術副会長の方から、ゲノムなどの研修会の案内が非常に遅く、開催直前での連絡が多々あるため、開催日が定まった地点ですぐに各都道府県へ連絡していただきたいとの要望を伝える。

4. 沖縄県臨床検査技師連盟より

- ・今年度の沖縄県臨床検査技師連盟の加入数は、現在93名、105口である。
- ・連盟の存在意義も周知しながら、来年から一口3,000円となる点が懸念材料だが、多数の方へ加入していただくよう努力していきたい。（瀬戸事務局長）
- ・連盟の会計担当は赤嶺理事が担当することになり、OB会の知念榕子氏もバックアップすることが決定した。

5. 会計報告

- ・今月は学会に関することのみだが、学会参加が343名（1名非会員）であった。
- ・収入：学会参加費（約77万6千円）、広告料（約40万円）、助成金（約5万円）
- ・支出：学会誌代（約50万円）、弁当代金（約37万円）、講師謝礼金（約7万円）、講師旅費（約6万円）、プラス実習費用
- ・印刷は今年度からドリーム印刷を使っており、今回、かなり押さえた金額になっている。（山城副会長）

6. その他

- ・今回、添付資料へ沖縄県臨床検査技師会の定款を添付してあるので、新理事および継続の理事は、今一度確認していただきたい。（瀬戸事務局長）
- ・離島担当理事である池間理事（沖縄県立宮古病院）より、現在、職場の環境がスカイプを

使用できるので、次回の理事会から設置して、電磁的な会議の参加を実施する。

- ・新旧理事の歓送迎会は、7月13日（金）で調整中。場所に関しては、担当者である古見理事が追って連絡する。
- ・この理事会は、毎月第2水曜日に定例的に開催することが決定しており、ご周知願いたい。
- ・手登根会長所信表明：私が理事会長を承諾したのは、現理事、特に新三役が強力にサポートしていただけること、そしてこのメンバーであれば私の力不足も補足していただけると確信したのが決めてとなった。精度管理や採血など、日臨技の方向性に沿って、沖臨技を導いていきたい。理事皆様のご協力を強くお願いしたい。

以上

平成30年6月17日

文責：山城 篤（那覇市立病院）